



2015～16 年度
国際ロータリー会長
K. R. ラビンドラ

Weekly Report Niigata



世界へのプレゼントになろう

2015～16 年度 国際ロータリーのテーマ



2015～16 年度
新潟ロータリークラブ会長
竹石 松次

新潟 RC8月第 3例会 (2015.8. 25) No.3100

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 竹石 松次 会長挨拶

吉田東伍

元治元年(1864)～大正七年(1918)

明治を遡ること四年、阿賀野市保田(越後国蒲原郡保田村)の豪農、旗野家の三男として誕生。父・木七、母・園子で、両親とも文学の素養があり、父の木七は、「古樹」と号し、和歌、漢詩に長けていた。

四人の男子は、長男・餘太郎＝東京で英語を学ぶ一方、清国・上海に遊学経験あり、次男・弘二＝叔父・石黒忠三郎の養子となった、東伍、そして、四男・義彦＝高橋家に養子に入る。書に秀でたほか、篆刻も得意で、東伍の雅印を数多く刻んでいる。

叔父の旗野十一郎は、村校の創設に尽力し、初代校長を務めた。東伍は、この叔父の小学校と、教員を集めての「晩成熟」と称した私塾で和漢書の教育を受けた。十一郎はやがて東京音楽学校の職に就き、小学校唱歌「港」「川中島」を作詞した。

東伍は、明治七年(1874)、新潟英語学校に入学したものの「西南の役」で政府の財政が欠乏し、三年後に廃校の岐路に立たされ、その後は独学の人生を辿ることとなった。

明治十六年、小学校教員試験を、受験、合格し、次兄・石黒弘二の学校、大鹿校(新潟市秋葉区)の教員となった。翌年、吉田家の婿養子となり、以後吉田姓を名乗ることになった。

明治十八年、「一年志願兵条例」により、仙台鎮台に入営する。九ヶ月後、除隊し、再び地元の小学校正教員の試験に挑戦、高等科訓導の資格を得て、新設の水原高等小学校に赴任する。

そして、明治二十三年、結婚間もない妻を残して、単身北海道に渡る。当時蝦夷地を何の目的かで論議を呼んでいるが、この北海道から中央に寄稿した論文「古代半島興廃概考」と「史海第一巻の竹内宿禰伝を評す」が注目された。歴史人物論の有様を問うたものであった。

一年二か月の北海道生活を後にした東伍は、ふるさとで休養する間もなく、東京の叔父、十一郎や郷里の市島健吉の世話になった。

市島謙吉は、読売新聞の主筆で、この縁で東伍は、読売新聞社に入り「徳川政教考」を連載している。

奇遇の対面が実現した。明治二十八年、日清戦争が開始された直後、当時、新潟で県会議長だった坂口仁一郎(坂口安吾の父)と出会い、海軍の話を契機に、艦隊への従軍を願い出て許され戦地に向かっている。

従軍記者を終えると東伍は、いよいよ「大日本地名辞書」の編纂に着手した。一生の大著を計画、一世一代の事業で、出版元を説得し、執筆に着手する。明治二十八年(1895)、東伍三十一歳であった。

明治三十三年、第一冊目の「地名辞書」が出版に至った。汎論、索引が揃い、寄稿以来十三年、総ページ数、五千百八十、総字数、約千二百万に達した。

出版元は、市島謙吉(春城)、それに、新潟県上越市出身で、郵便の父といわれた前島密が、出版社の富山房の房主・坂本嘉治馬に持ちかけ、

「目の前の利益を追うのではなく、完成を十年待つほどの価値ある事業である」

と伝えられ、県人同士の繋がりも不思議な縁となって実現することになった。

明治四十年、東京・上野精養軒で行われた出版記念会では、正面に原稿が並べられ、その長さは四メートル五十センチにも及んだという。

本の末尾に東伍は、次のように書いている。

「凡歳月を閱(けみ)すること十有三春秋、悪戦僅(わずか)に生還するの想あり、回顧して偏(ひとえ)に短才微力を愧(は)づ。」

東伍の業績を語る時、「大日本地名辞書」の今日的意義は、民俗学、地理学的観点から考察されており、地名の生成過程において、地形、氏族、生産形式など、細かな分析を行い。辞書の中で明らかにしている点であろう。

大正七年一月(1918)、千葉県銚子市(旧・本銚子町)で五十三余年の生涯を終えた。

ふるさとの阿賀野市の地に吉田東伍、義彦兄弟の「記念博物館」が設立されている。

千秋が、原曲者である「琵琶湖周遊の歌」は、東伍、カツミ夫妻の次男で、二十四歳で亡くなった彼が作ったことが判明した。

昭和四十六年、歌われてから七十五年目の初夏のことであった。

(3) ビジターの紹介・ご挨拶

一森 義史君 2710地区東城RC幹事

(4) 退会ご挨拶

(株)BSNウェブ取締役会長 相沢 信介君

(5) 新会員の紹介



JA バンク新潟県信連常務理事
町田 智君
ご紹介 鷗野幸規君
所属委員会 広報会報雑誌委員

たように感じます。これからも新妻を大切に楽しく生活して行きたいと考えています。

・小飯田 澄雄君 23日(日)に開催されたゴルフ同好会にて同伴者及び9ホールペリアに恵まれ、優勝することができニコニコでした。感謝します。

・鷗野幸規君 JAバンク県信連町田さんのご入会、そして野球同好会へのご入会にニコニコいたします。

・務台 昭彦君 先週末、22日(土)23日(日)に行われた第38回24時間テレビのイベント・放送が事故もなく無事終了することが出来ました。多くの県民の方々から募金をいただき又、ボランティアの方の募金活動もありました。ご協力いただいた方に感謝の気持ちを込めてニコニコさせていただきます。

・玉 知夫君 長岡市が進めてきた、ハワイ・ホノルルで行われた太平洋戦争終結70周年の追悼式典に参列してきました。戦争犠牲者を慰霊する白菊の花火、そして見事なスターマインがハワイの夜空に打ち上げられ大いに感動させられました。また、18日(火)ホノルルロータリークラブの例会に出席してきました。ロイヤル・ハワイアンホテルの会場はワイキキ海岸に面していて、世界一景色の良い自慢の会場と言われています。会費は37ドル、プラス税金。ビュッフェスタイルでビーフカレーもありおいしかったです。会長は47歳の銀行員、日系人や女性も多く貴重な体験にニコニコします。

(9) 伴 昭彦君へ新会員スポンサーバッチ贈呈

(10) 会員スピーチ「会員増強

—世界・地区・新潟ロータリークラブの現状と問題点—

石本隆太郎クラブ奉仕B委員長

(11) 本日の出席率 69.90 %

会員数98名(出席免除会員9名)

出席者65名(出席免除会員5名を含む)

(2週間前メーク後 85.11 %)

9月8日の例会予定

会員スピーチ

SMBC日興証券(株)新潟支店長 中山 泰君

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

この度は、歴史と伝統ある新潟ロータリークラブへの入会を認めていただきまして、誠にありがとうございます。出身は阿賀野市(旧笹神村)の農家で、現在も生家から新潟市まで通勤しており、農業は喜寿を迎えた老父母が営んでおります。野山に囲まれて育った為、体を動かすことが好きで、「巨人の星」で野球に熱中した少年時代に始まり、学生時代はバドミントンとラグビーを少々、バドミントンは現在も続けております。また、物を捨てられない家系で、本やレコード、ビデオなども処分できず、読書・鑑賞というより、今や「集めること」そのものが趣味となってしまうように思います。JAバンク新潟県信連からは桑原隆と入れ替わりになりますが、協同組合で培った相互扶助の精神も発揮しながら、ロータリークラブの奉仕の理念に基づき、精一杯精進させていただく所存であります。皆様のご指導、ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

(6) ゴルフ同好会報告(吉田和弘幹事)

8月23日コンペ結果報告と9月27日コンペご案内。

優勝 小飯田 澄雄さん

2位 山田 真さん

3位 徳永 昭輝さん

(7) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(小林 敬直委員長)

後藤 司郎君

青少年育成基金寄付発表(小林 悟委員長)

本間 彊君

(8) ニコニコボックス紹介

・相沢 信介君 本日を以ちまして退会させて頂くことになりました。これ迄のご厚誼に深く感謝申し上げます。新潟RCのご発展を祈っております。

・高橋 清文君 結婚記念日のお花、ありがとうございました。入籍後1年を経過し、最近ようやく夫婦らしさが出て来